

木造ラーメン、鉄骨住宅とUFO-Eの使用について、

SMRC株式会社

- 1、一般木造住宅では1～3Fまで、摩擦ゲンシンパキン「UFO-E」の使用は可能ですが、集中荷重が掛かるので、めり込みを考慮して、軸力に応じて、多めの「UFO-E」が必要になります。
- 2、木造の土台の無い門型木造ラーメンでも、理論的には、M12用、M16用（注文品）を使えばOKですが、三階建で、鉄骨ベースのようなBOX金物を使用する本格木造ラーメン構造では、  
構造計算もシビアですので、「鉄骨用のUFO-E」（注文生産）を使用した方が無難と思います。
- 3、鉄骨用UFO-Eは、外形はベースPLと同形、下はステンレス $t=3$ 、 $\phi 17$ （又は $\phi 13$ ）ボルト孔、上はステンレス $t=2$   $\phi 22$ ボルト孔の2枚一組になります。  
理論はUFO-Eと全く同じです。基礎とBOX金物の間に  
補助ベースPLとして、設置します。  
鉄骨のベースPLは基礎面に密着することが要件だからです。
- 4、PLとの加工は受注品、その都度設計製作します。